J

MCR-040/140

(CRX-040/140 + NS-BP80)

マイクロコンポーネントシステム

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なにおいや音がする。 ● 異常に高温になる。
- 内部に水や異物が混入した。● 煙が出る。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

本体の⏻ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

本機を完全に主電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

電池

禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。

禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。

禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

MCR-140をお使いのお客様へ

禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm以上離して使用ください。

ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上の注意

禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。
閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

電池

電池は極性表示(プラス＋とマイナス－)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

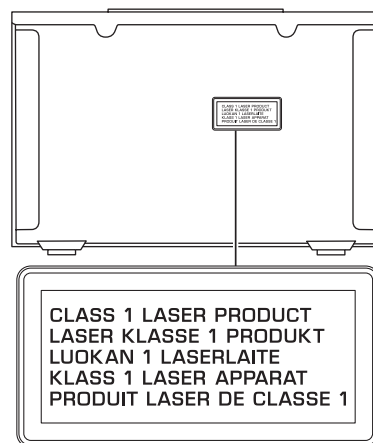
レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。

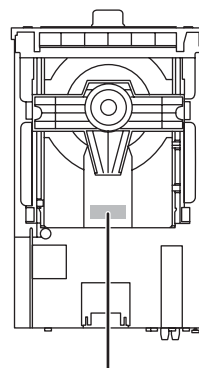
手入れ

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

無線に関するご注意（MCR-140）
この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。

音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

目次

準備

操作

その他の情報

■ 本書について

- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- ☞ は参照先のページを表します。
- 「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、💡 では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

■ 商標

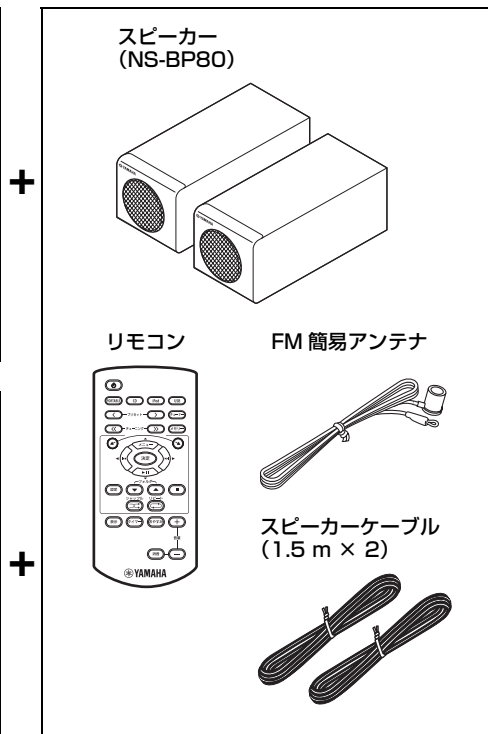
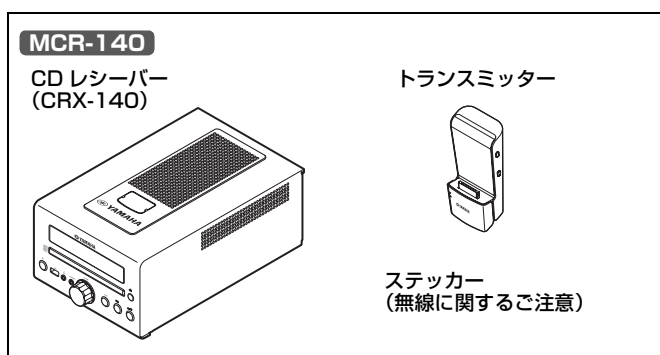
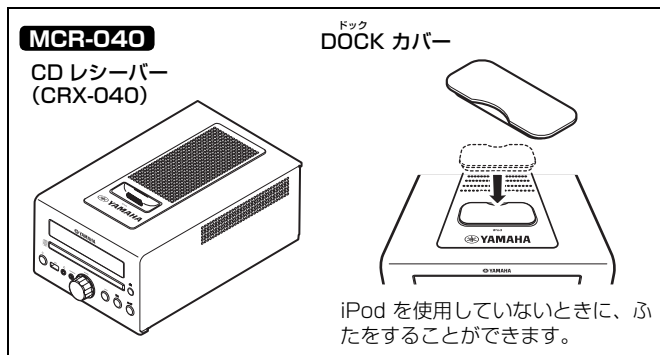
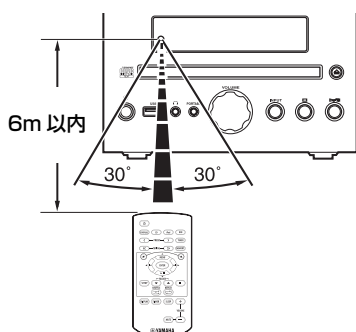
Advanced YST（アドバンスド ワイエスティー）

1988 年、ヤマハは独自の YST 方式により良質でパワフルな低音域の再生を可能にするスピーカーシステムを世に送り出しました。この方式はアンプとスピーカーをダイレクトに近い状態で電気的に接続することでアンプの動作を正確にスピーカーに伝え、かつスピーカーの動作をコントロールすることができます。
さらに負性インピーダンスコンバーター、N.I.C（Negative Impedance Convertor）によりスピーカーユニットがきちんとコントロールされるので、スピーカーキャビネットの容積とポートとの間で起こる空気共振を高めることが可能になり、通常のバスレフ方式のスピーカーユニットよりも大きな共振エネルギー（エアウーファー）の生み出しが可能となります。これにより従来不可能であった、小さなキャビネットから、より低い音まで再生することが可能となりました。

AirWired（エアワイヤード） MCR-140

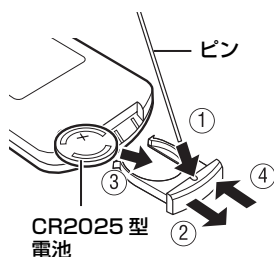
ヤマハ独自のデジタルワイヤレス伝送技術「AirWired（エアワイヤード）」により、非圧縮で音質劣化のない音楽をリアルタイムで再生。さらに、お手元に置いた iPod で、本機のシステムオン / オフや音量操作が可能です。

MCR-040/140 の構成と付属品

ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

■ リモコンを使用する

リモコンで本機を操作するときは、リモコンの赤外線信号送信部を本体のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から 6m 以内です。

ご注意

- リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
  - — 気温・湿度が高い場所(ヒーターの近くや風呂場など)
  - — 極端に気温が低い場所
  - — ほこりっぽい場所

■ リモコンの電池を交換する

リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。

再生可能なディスク / ファイル形式

■ 本機で再生できるディスク

.... コンパクトディスク
（オーディオ CD）

.... CD-R、CD-RW ディスク

・下記のいずれかの表示のある CD-R や CD-RW ディスク
FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY
・ファイナライズされた CD-R や CD-RW ディスク

ご注意

一部の CD-R/CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

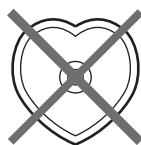
.... CD-TEXT ディスク

8 センチ CD を再生するには

ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

ご注意

・上記以外のディスク (変形ディスクも含みます。) はご使用にならないでください。
上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。

・ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お知らせ

使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

■ 本機で再生できる MP3/WMA ファイル

MP3

フォーマット	ビットレート（kbps）	サンプリング周波数（kHz）
MPEG 1 Audio Layer-3	32-320*1	32/44.1/48
MPEG 2 Audio Layer-3, 2	8-160*1	16/22.05/24

*1 可変ビットレートに対応しています。

WMA

・ Version 8
・ Version 9（標準 / 可変ビットレート対応、Professional and Lossless 非対応）

プロファイル	ビットレート（kbps）	サンプリング周波数（kHz）
High Profile	32-320*2	32/44.1/48
Mid Profile	16-32	22.05

*2 固定ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。

ご注意

・Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
・USB 機器はファイルの作成日時順に再生します。
・本機では、著作権保護された WMA（DRM）ファイルは再生できません。
・本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
・ファイル数の上限は次の通りです。

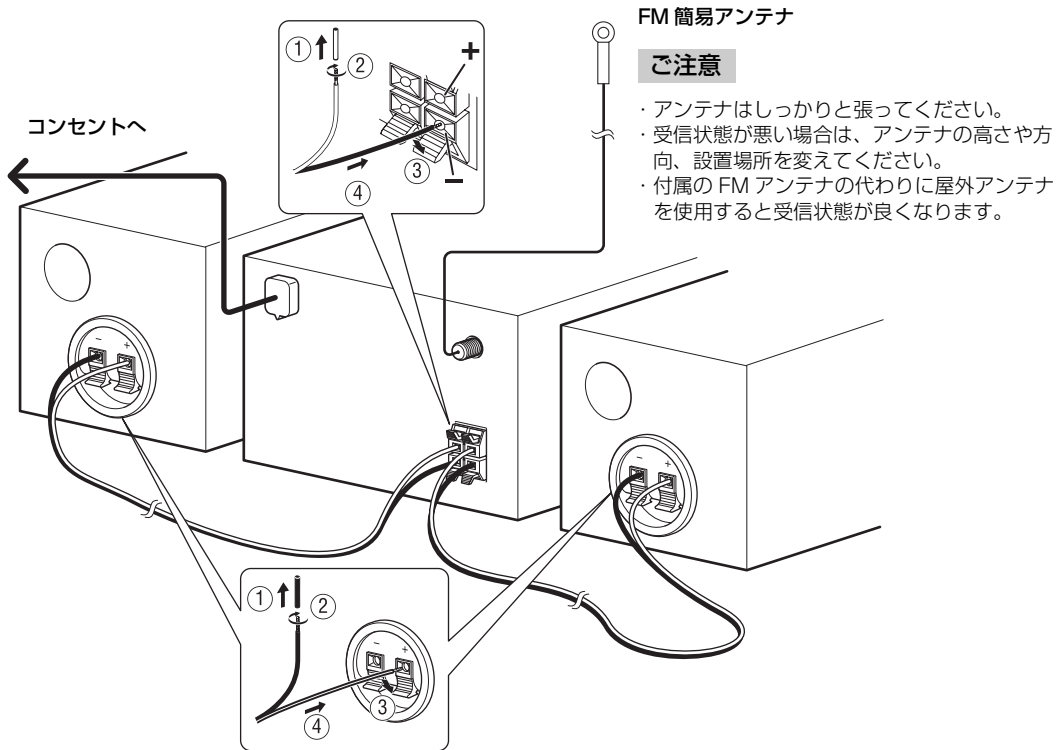
	Data Disc	USB
ファイルとフォルダの最大合計数 *3	512	9,999
最大フォルダ数 *3	255	255
1 フォルダ内の最大ファイル数	511	255

*3 ルートもフォルダの一つとして数えます。

接続

基本接続

スピーカーと FM 簡易アンテナを接続します。

すべてのケーブルを接続するまで、本機の電源コードは接続しないでください。

ご注意

- 端子の左右（L、R）や、極性（赤 : +、黒 : −）を確認して正しく接続してください。間違えて接続すると音が不自然になったり、低音が出なくなったりします。また、接続が不十分だと音がまったく出なくなります。
- スピーカーの芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触することのないようご注意ください。本機およびスピーカーを破損する原因となります。
- 付属のスピーカーを使用してください。他のスピーカーを使用すると、音が不自然になる場合があります。
- ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、スピーカーとディスプレイの距離を離してご使用ください。

ワイヤレス接続 MCR-140 のみ

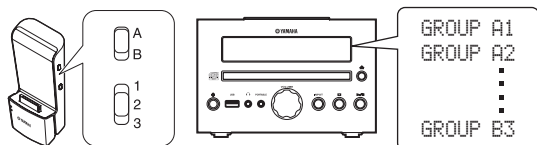
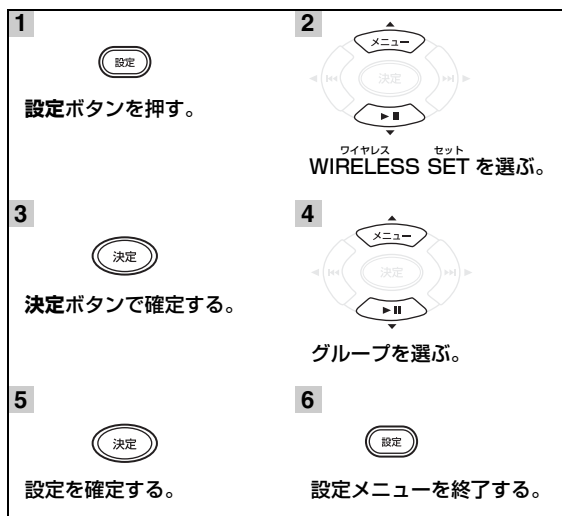
トランスミッターに接続した iPod を再生操作すると、自動的に本機の電源が入り、iPod の音楽を楽しむことができます。

iPod の再生操作で本機の電源を入れるには、POWER SAVING を NORMAL に設定します（☞ P. 11）。

ご注意

iPod のボリュームを調整すると、本機のボリュームも連動して調整されます。iPod でボリュームを調整するときは注意してください。

■ グループ設定

トランスミッターに接続して iPod を操作するには、トランスミッターと CD レシーバー（CRX-140）のワイヤレスグループを合わせます。トランスミッター、CD レシーバーのワイヤレスグループ初期設定は A2 です。

CD レシーバー（CRX-140）のワイヤレスグループを設定する

■ サブウーファーのワイヤレス再生

別売りのワイヤレスサブウーファーキット（SWK-W10 など）と組み合わせてサブウーファーを接続する事で、サブウーファーをワイヤレス再生することが可能です。サブウーファーを使用するには、設定メニューで WIRELESS SW を YES に設定します（☞ P. 11）。使い方については、ワイヤレスサブウーファーキットの取扱説明書をご覧ください。

その他の接続

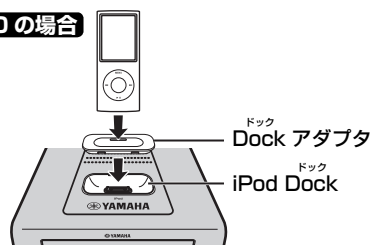
■ iPod をセットする

iPod はいつでも好きなときに設置または取り外しできます。

本機がスタンバイのときでも、iPod Dock や充電スペースに設置した iPod は充電されます。

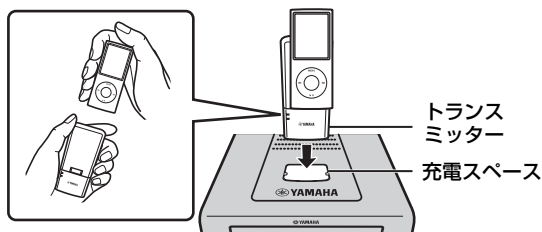
ご注意

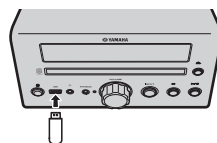
本機は iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch に対応しています。

MCR-040 の場合

ご注意

確実に接続するために、iPod 同梱の Dock アダプタまたは市販の iPod Universal Dock アダプタを取り付け、iPod の保護ケースは取り外してください。

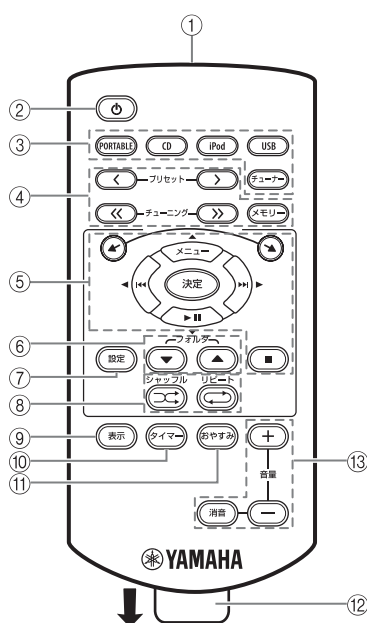
MCR-140 の場合

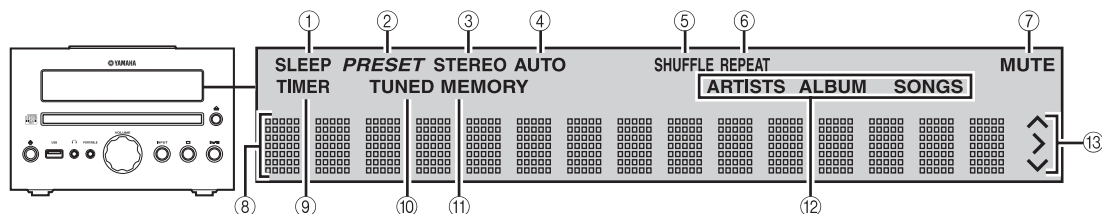
iPod を充電したいときは iPod を充電スペースに設置します。iPod が充電スペースに設置されているときは、iPod をリモコンで操作することも可能です。

■ USB を接続する

USB 機器はいつでも好きなときに接続または取り外しできます。

本機がスタンバイのときでも、本機に接続した USB 機器は充電されます。

ご注意

- 本機で再生できる USB 機器は、USB マスストレージクラスに対応し、データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。
- USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャーや USB ハブ）、PC、カードリーダー、外付け HDD などは本機に接続できません。

リモコン

① **赤外線信号送信部**（☞ P. 2）
② **⏻ボタン**：スタンバイ / オン
③ **ソースボタン**：PORTABLE、CD、iPod、USB、チューナー（☞ P. 8、10）
④ **FM 操作ボタン**（☞ P. 10）
⑤ **⬋/⬊**：iPod スクロールボタン（☞ P. 8）
メニュー / 決定 / ▶⏸/⏮/⏭：マルチ機能ボタン（☞ P. 8、9、10、11）
■：停止ボタン（☞ P. 8、9）
⑥ **フォルダ ▼/▲ ボタン**（☞ P. 8）
⑦ **設定ボタン**（☞ P. 5、11）
⑧ **シャッフル / リピートボタン**（☞ P. 9）
⑨ **表示ボタン**（☞ P. 9、12）
⑩ **タイマーボタン**（☞ P. 12、13）
⑪ **おやすみボタン**（☞ P. 13）
⑫ **絶縁シート**：リモコンを使用する前に引き抜いてください。
⑬ **音量コントロールボタン**：音量を調節します。
消音するには消音ボタンを押します。もう一度押すと消音が解除されます。

ディスプレイ

① **SLEEP**（スリープ）**インジケーター**：スリープタイマー機能使用時に点灯します（☞ P. 13）。

② **PRESET**（プリセット）**インジケーター**：プリセット局を選局しているときに点灯します（☞ P. 10）。

③ **STEREO**（ステレオ）**インジケーター**：電波の強い FM ステレオ放送を受信すると点灯します。

④ **AUTO**（オート）**インジケーター**：自動選局を行っているときに点灯します（☞ P. 10）。

⑤ **SHUFFLE**（シャッフル）**インジケーター**：iPod（MCR-040 のみ）、CD、USB がシャッフル再生に設定されているときに点灯します（☞ P. 9）。

⑥ **REPEAT**（リピート）**インジケーター**：iPod（MCR-040 のみ）、CD、USB がリピート再生に設定されているときに点灯します
（☞ P. 9）。

⑦ **MUTE**（ミュート）**インジケーター**：消音したときに点灯します。

⑧ **メインディスプレイ**：FM 周波数やさまざまな情報を表示します。

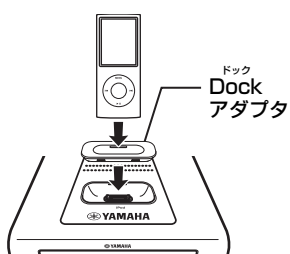
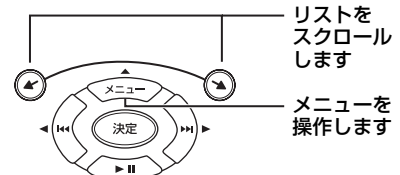
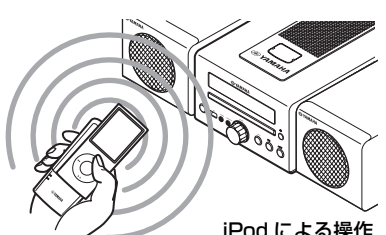
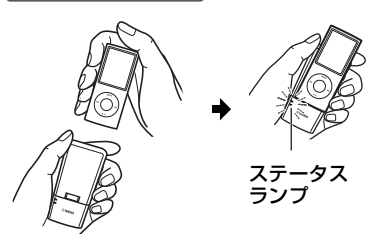
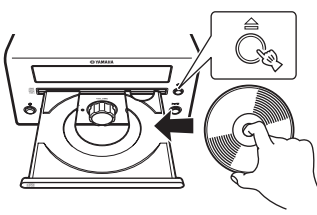
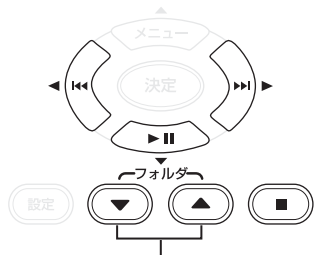
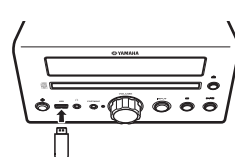
⑨ **TIMER**（タイマー）**インジケーター**：タイマー機能使用時に点灯、タイマー設定時に点滅します（☞ P. 13）。

⑩ **TUNED**（チューンド）**インジケーター**：放送局を受信しているときに点灯します（☞ P. 10）。

⑪ **MEMORY**（メモリー）**インジケーター**：自動または手動で放送局を登録しているときに点灯、自動プリセットで放送局を探しているときに点滅します（☞ P. 10）。

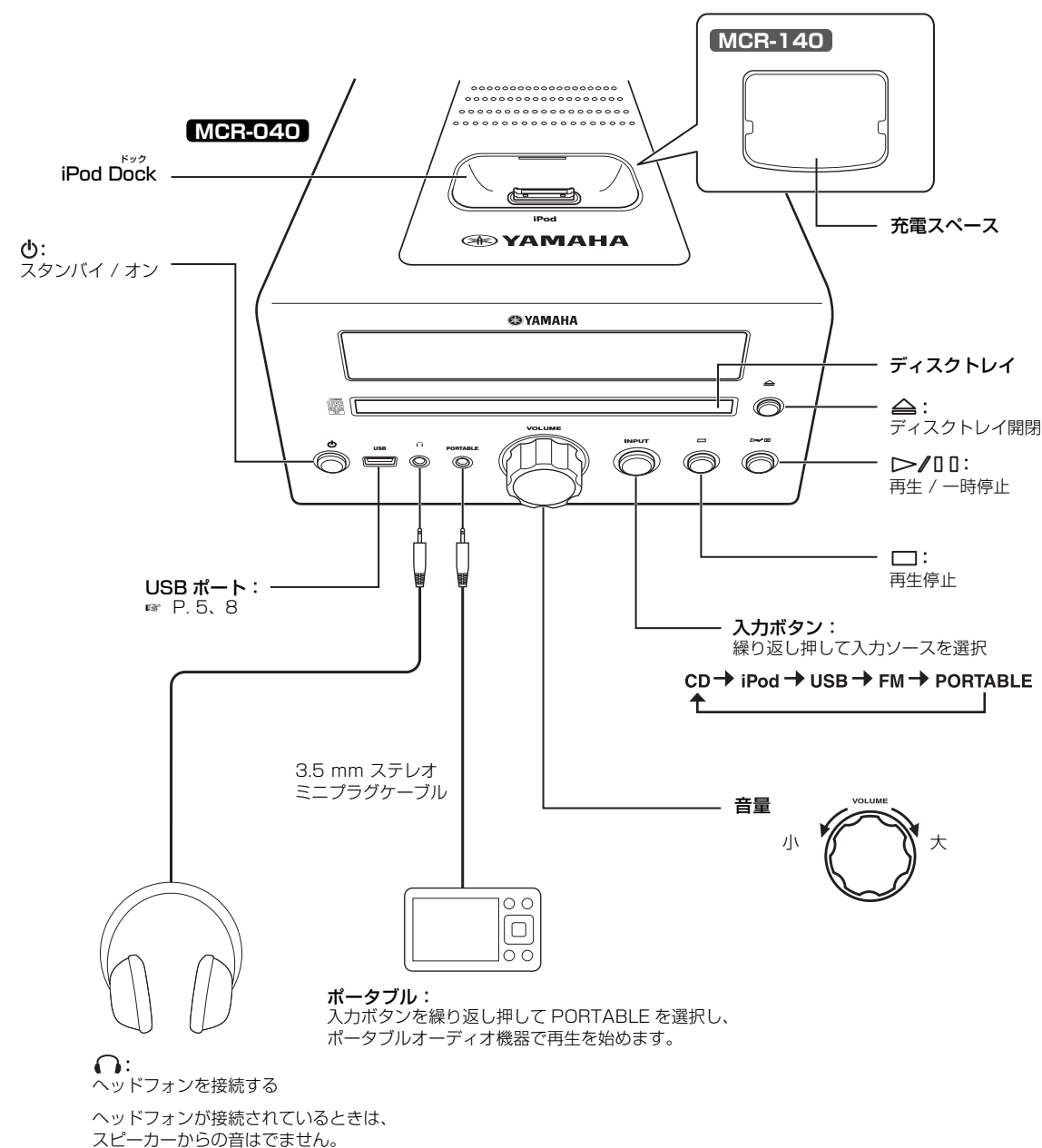
⑫ **マルチインフォメーションインジケーター**：現在メインディスプレイで表示している音楽情報を表示します（☞ P. 9）。

⑬ **操作インジケーター**：設定ボタンを使用しているときに操作可能なカーソルを表示します。

フロントパネルと基本操作

- 音楽が再生されないまま、なにも操作しない状態が 1 時間以上続いた場合、自動的に本機はスタンバイに切り替わります（自動スタンバイ機能）。ただし入力ソースが PORTABLE / チューナーに設定されている場合、この機能は作動しません。
- 本体の⏻ボタンを押すと、本機はスタンバイに切り替わります。スタンバイ時には、ディスプレイの表示がされなくなり、電力の消費を抑えることができます。電源をオンにするには、⏻ / ⏏を押すか、トランスミッターに接続した iPod の再生を開始してください（MCR-140 のみ）。
- 入力ソースが iPod のとき、iPod をトランスミッターから取り外したり、無音の状態が続くと、自動的に本機はスタンバイに切り替わります（MCR-140 のみ）。

ポータブル：
入力ボタンを繰り返し押して PORTABLE を選択し、ポータブルオーディオ機器で再生を始めます。

🎧：
ヘッドフォンを接続する

ヘッドフォンが接続されているときは、スピーカーからの音はでません。

音楽を聴く

再生操作

下記の手順に従って再生操作をしてください。

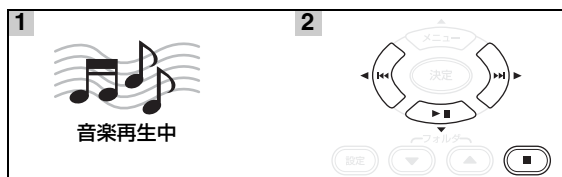
	1 入力ソースをセットする	2 入力を切り換える	3 音楽を選択して再生する
iPod*1	MCR-040 の場合 Dock アダプタ ☞ P. 5 MCR-140 の場合 ステータスランプ ☞ P. 5、16	iPod	リストをスクロールします メニューを操作します MCR-140 のリモコンまたは本機フロントパネルによる操作は、iPod が充電スペースに設置されている場合のみ可能です（☞ P. 5）。 MCR-140 のみ iPod による操作 音量に注意してボリュームを調整してください。
CD		CD	フォルダ MP3/WMA は、前もしくは次のフォルダの最初のファイルへスキップします *3
USB*2	☞ P. 5	USB	

*1 お使いの iPod のモデルやソフトウェアのバージョンによってはご使用できない機能もあります。

*2 · お使いの USB 機器によっては正常に作動しないことがあります。
- すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。
- 保存されているファイルもしくはフォルダの数によっては読み込みに 30 秒以上かかることもあります。
- USB 機器を本機と接続して使用しているときに、USB 機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

*3 再生中に操作すると、一時的にディスプレイにフォルダ名が表示されます。

その他の操作

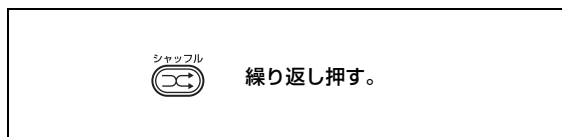
■ 再生操作

▶▶I：曲のスキップ / 長押しで早送り
I◀◀：曲のスキップ / 長押しで巻き戻し
▶II：再生 / 一時停止
■ ：停止

ご注意

・Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
・USB 機器はファイルの作成日時順に再生します。

■ シャッフル再生

ランダムに音楽を再生します。

シャッフル 繰り返し押す。

iPod

*1 iPod touch では ALBUMS（アルバム）は設定できません。

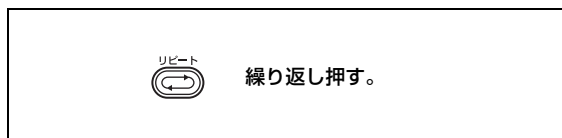
CD/USB

OFF → (FOLDER)*2 → ALL

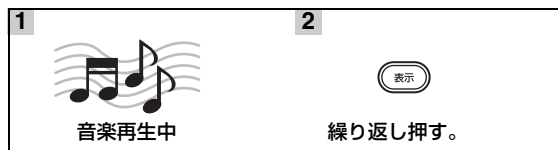
*2 選択された音楽ソースが MP3 / WMA の場合、FOLDER（フォルダ）も選択できます。

■ リピート再生

繰り返し音楽を再生します。

リピート 繰り返し押す。

*3 選択された音楽ソースが MP3 / WMA の場合、FOLDER（フォルダ）も選択できます。

■ 画面の表示内容を切り替える

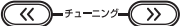
ディスプレイに表示されている再生情報を切り換えることができます。ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。漢字やひらがな、カタカナ、特殊記号は表示されません。

iPod MCR-040 のみ

曲番号と再生経過時間（初期画面）
↓
曲番号と残り時間
↓
曲名
↓
アーティスト名
↓
アルバム名
↓
初期画面に戻る

ご注意

この機能は iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch でのみご利用いただけます。ただし iPod のソフトウェアのバージョンによっては、上記のモデルでも使用できない場合もあります。

CD/USB

トラック / ファイル番号と現在の曲の再生経過時間（初期画面）
↓
トラック番号と現在の曲の残り時間 *4
↓
ディスクの総演奏時間 *4
↓
ディスクの残り時間 *4
↓
ファイル名 *5
↓
曲名 *6
↓
アーティスト名 *6
↓
アルバム名 *6
↓
初期画面に戻る

*4 オーディオ CD 再生時のみ
*5 MP3/WMA ファイル再生時のみ
*6 選択されたトラックが各情報を含んでいるときのみ

FM ラジオを聴く

放送局を選ぶ

1 **チューナー**ボタンを押す。

2

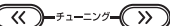
長押しして、自動チューニングを始める。

放送局の電波が弱く、受信しにくいときには、**チューニング <</>>** ボタンを繰り返し押し、手動で調整できます。

ご注意

手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、お好みの放送局を本機にあらかじめ登録できます。

■ 自動プリセット

1 入力ソースが FM に設定されているときに**メモリー**ボタンを 2 秒以上長押しする。

2

自動プリセットを開始する。

ご注意

自動プリセットを実行すると現在登録されているすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。

■ 手動プリセット

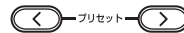
1 登録したい放送局を選ぶ。

2 **メモリー**ボタンを押す。

3 登録したいプリセット番号を選ぶ。

4 放送局を登録する。

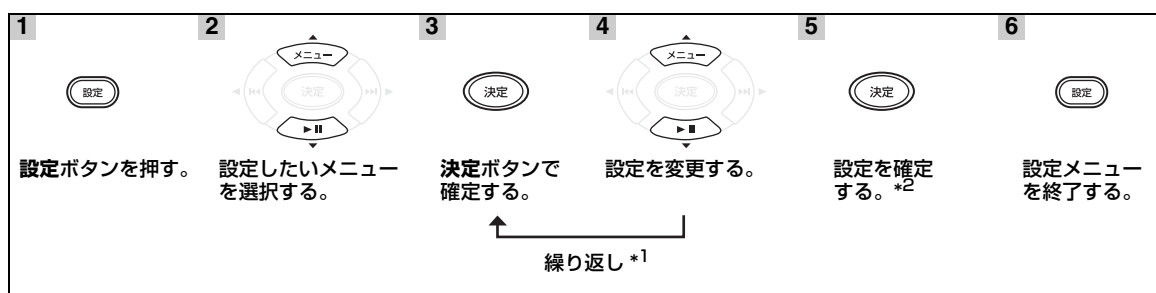
- 最大 30 局の FM 放送局を登録できます。
- プリセット番号選択中に手動プリセットをやめるには、**メモリー**ボタンをもう一度押します。
- 設定メニューの PRESET（プリセット） DELETE（デリート） から登録した放送局を削除できます。**設定**ボタン→**メニュー ▲/▼** ボタンで PRESET（プリセット） DELETE（デリート） を選択し**決定**ボタンを押したあと、不要な放送局を削除してください。

登録した放送局を選ぶ（プリセット選局）

入力ソースが FM に設定されているときに、登録した放送局を選ぶ。

便利な機能

設定メニューを使う

設定ボタンを押すとディスプレイに設定メニューが表示されて、様々な機能を設定することができます。

設定メニュー	設定内容または調整範囲	参照ページ
プリセット デリート PRESET DELETE	（入力ソースが FM のときだけ表示されます）	10
ディマー DIMMER（表示の明るさ）	ディマー オン オフ DIMMER ON（25%）/ OFF（100%）	以下
トレブル TREBLE（高音）	－ 6 dB ～ ＋ 6 dB	以下
バス BASS（低音）	－ 6 dB ～ ＋ 6 dB	以下
バランス BALANCE	センター L+5 ～ CENTER ～ R+5	以下
クロック セット CLOCK SET	時、分	12
タイマー セット TIMER SET	起動時間（時、分）、音楽再生時間、音楽（入力ソース、トラック / ファイル番号もしくはプリセット番号）、タイマーオン / オフ	12
ワイヤレス セット WIRELESS SET **MCR-140 のみ**	グループ GROUP A1/A2/A3/B1/B2/B3	5
パワー セービング POWER SAVING **MCR-140 のみ**	ノーマル エコ NORMAL / ECO	以下
ワイヤレスサブウーファー WIRELESS SW **MCR-140 のみ**	ノー イエス NO / YES	以下

*1 複数の設定内容があるときは、手順 3、4 を繰り返します。前の設定に戻るには、|◀◀ ボタンを押します。
*2 他の項目を続けて設定するときは、手順 2 から繰り返します。

途中で設定をキャンセルするときは、**設定**ボタンを押します。

■ 表示の明るさと音質 / バランス、パワーセービングモードなどを設定する

ディマー
DIMMER：ディスプレイの表示の明るさを切り替えます。

トレブル
TREBLE*3：高音のレベルを調節します。

バス
BASS*3：低音のレベルを調節します。

バランス
BALANCE：左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

パワー セービング エコ
POWER SAVING：ECO に設定すると、スタンバイ時の消費電量を抑えることができます。ただし、スタンバイ時に iPod の再生操作で本機を起動することはできません。初期設定は NORMAL（ノーマル）です。この機能は MCR-140 のみ有効です。

ワイヤレスサブウーファー
WIRELESS SW：ワイヤレスサブウーファーキット（SWK-W10 など）を使ってサブウーファーを接続するとき、YES（イエス）に設定します。初期設定は NO（ノー）です。この機能は MCR-140 のみ有効です。

*3 ヘッドホン使用時にも有効です。

■ 時計を合わせる

CLOCK SET：時、分を設定するには、11 ページの手順 3、4 を繰り返します。

時計が設定済みのとき、リモコンの**表示**ボタンを長押しすると一定時間時刻を表示します。

ご注意

電源コードをコンセントから抜くと、時計の設定はリセットされます。

■ タイマーを設定する

TIMER SET：以下の設定項目を選択するには、11 ページの手順 3、4 を繰り返します。

タイマーボタンを長押しすると、直接 TIMER SET に入ることができます。

起動時間（時、分）

音楽再生時間

10 分単位で、10 分から 90 分まで設定できます。
自動的に本機をスタンバイにしない場合は「--」を選択します。

入力ソースとトラック / ファイル番号またはプリセット番号

ご注意

・入力ソース（iPod、CD、USB）が正しくセットされていないと、タイマー音楽は再生されません。確実にセットしてください。
・MCR-140：iPod を入力ソースとして選択する場合、iPod を充電スペースに設置してください。

iPod を選択した場合
曲の指定はできません。前回の iPod 終了時点から再生します。

CD を選択した場合
トラック / ファイル番号を設定します。
ディスクにないトラック / ファイル番号を選択した場合、一番最初のトラック / ファイルが自動的に再生されます。

USB を選択した場合
ファイル番号を設定します。
USB 機器にないファイル番号を選択した場合、一番最初のファイルが自動的に再生されます。

FM を選択した場合
プリセット番号を設定します。
「- -」は、前回聴いていた放送設定を選択します。

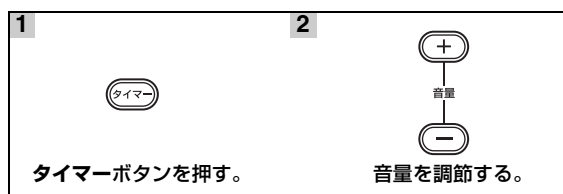
タイマーオン / オフ

設定したタイマーのオン / オフを切り替えます。タイマーをオンにすると、ディスプレイの TIMER インジケーターが点灯します（☞ P. 6）。

この設定は、**タイマー**ボタンでも切り替えが可能です（☞ P. 6、13）。

タイマーとスリープタイマーを使う

■ タイマーを使用する

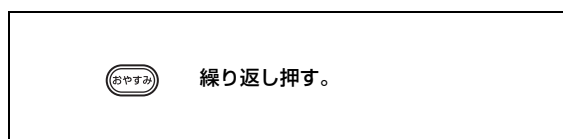
タイマーは、設定した時間に音楽を自動再生します。また、設定した音楽再生時間を経過すると自動的に本機をスタンバイにします。
使用する前に、確実に入力ソースをセットして、設定メニューで TIMER SET を設定してください（☞ P. 12）。

電源がオンのときに**タイマー**ボタンを押すと、オン / オフが切り替わります。タイマーをオンにすると、ディスプレイの TIMER インジケーターが点灯します（☞ P. 6）。タイマーを使用して本機を起動する場合は、本機をスタンバイにしてください。

ご注意

・時計が設定されていないと TIMER SET は設定できません。
・本機がスタンバイのときは、タイマーがオンの場合でもディスプレイの TIMER インジケーターは点灯しません。
・タイマーが動作すると、タイマー設定はオフになります。

・もう一度タイマーを有効にするには、電源がオンのときに再度**タイマー**ボタンを押します。
・タイマー設定で設定した内容は保持されます。

■ スリープタイマーを使用する

スリープタイマーは、設定した時間を経過すると自動的に本機をスタンバイにします。

OFF → 30min → 60min → 90min → 120min

スリープタイマーが設定されると、ディスプレイの SLEEP インジケーターが点灯します（☞ P. 6）。

操作

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または修理ご相談センターまでお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策	ページ
電源を入れてもすぐに切れる。 **本機が正常に作動しない。**	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。	4
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに再度接続し、電源をオンにしてください。	—
スピーカーから音が出ない。	再生したい入力ソースが正しく選ばれていない。	本体の入力ボタンやリモコンのソースボタンで再生したい入力ソースを正しく選んでください。	—
	スピーカーがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。	4
	消音状態になっている。	消音を解除してください。	6
	音量が小さい。	音量を大きくしてください。	7
	CD-ROM など、本機で再生できない信号が入力されている。	本機で再生可能な信号の入力ソースを再生してください。	3
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた。	故障ではありません。本機の電源をオンにして再生しなおしてください。	—
	音楽が再生されないまま、なにも操作しない状態が 1 時間以上続いた。		
	タイマーにより起動し、指定した再生時間が経過した。		
	MCR-140：入力ソースが iPod のとき、iPod をトランスミッターから取り外した、または無音の状態が続いた。		
時刻の設定内容が消えた。	電源コードがコンセントから抜かれた。	電源コードをコンセントに差し込み、時刻を再度設定してください。	—
片側のチャンネルの音がほとんど出ない。	再生機器やスピーカーがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。接続に問題が無いときはケーブルに不具合がある場合があります。	4
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。	—

下記のメッセージは、MCR-140 をお使いの場合のみ表示されます。

表示	内容	対策	ページ
SubWoofer Link	本機とサブウーファーの無線接続が完了しました。		
SubWooferUnlink	本機とサブウーファーの無線接続が切断されました。		
Wireless Error	本機内部の回路に異常がある。	電源プラグを抜いて、お買い上げ店または修理ご相談センターにお問い合わせください。	—

放送局の受信

症状	原因	対策	ページ
ステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認してください。	4
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	アンテナを感度の良い、多素子の屋外アンテナに変えてください。	—
		手動選局をしてください。	10
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	アンテナを感度の良い、多素子の屋外アンテナに変えてください。	—
		手動選局をしてください。	10
プリセット選局ができない。	本機のメモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再度登録してください。	10
FM 専用アンテナや屋外アンテナを使用していても、音が歪むなど受信感度が悪い。	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。	—

iPod™

ご注意

本機のディスプレイに下記のメッセージが表示されない場合は、iPod の接続をご確認ください（5 ページ）。

MCR-040 をお使いの場合

表示	内容	対策	ページ
iPod Connecting iPod charging	iPod との接続を確認中です。	ディスプレイのメッセージが消えず再生が始まらない場合は、iPod を接続しなおしてください。	5
Unknown iPod	iPod との通信に問題が発生しています。	iPod を接続しなおしてください。	5
	本機に対応していない iPod が接続されている。	iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch のみ対応しています。	—
iPod	iPod は認識していますが、iPod から再生時間などの情報が取得できません。		
iPod Unplugged	iPod が iPod Dock（ドック）から取り外されました。	iPod を iPod Dock（ドック）に接続してください。	5

MCR-140 をお使いの場合

表示	内容	対策	ページ
iPod Linked iPod	正しく無線接続されました。		
iPod Unlinked	無線接続がされていません。	iPod をトランスミッターに接続し、再生してください。	5
iPod Low Batt.	iPod のバッテリー残量が少なくなりました。	充電スペースに設置してください。	5

その他の情報

下記のステータスランプ表示は、トランスミッターの状態を表します。

ステータスランプ表示	トランスミッターの状態	対策	ページ
消灯	トランスミッターがスタンバイモードです。		
	iPod が未接続か、無線接続が完了していません		
緑点滅	接続中です。	お待ち下さい。	—
一度だけ緑点滅	音量調整中か、リモコンで操作中です。		
緑点灯	本機とトランスミッターの接続が完了しました。		
緑点灯と 2 秒間だけ赤点滅	対応 iPod 以外の iPod が接続されています。	iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch のみ対応しています。	5
緑点灯と赤点滅が継続	認証に失敗しました。	接続しなおしてください。	8
赤点滅	エラーが検出されました。	iPod をトランスミッターから取り外し、再度トランスミッターに接続してください。	8
一度だけ赤点滅	音量が最大か最小です。		
赤点滅 2 回が継続（緑の状態に関係なく）	iPod のバッテリー残量が少なくなりました。	充電スペースに設置してください。	5

症状	原因	対策	ページ
iPod の音が出ない。	本機の電源がオフになっている。	電源コードを正しく接続してください。	—
	iPod のソフトウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新の iTunes ソフトウェアをダウンロードし、iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。	—
	iPod と本機が接続中です。	接続が完了するまで少々お待ちください。	—
	MCR-140：iPod のバッテリー残量が少ない。	iPod を充電してください。	—
	MCR-140：iPod がトランスミッターに正しく接続されていない。	iPod を正しく接続してください。	—
	MCR-140：iPod にイヤフォンが接続されている。	イヤフォンを取り外してください。	—
	MCR-140：トランスミッターからの電波が金属や人体で遮られている。	トランスミッターからの電波が金属や人体で遮られないように、持ち方や持つ位置、置き方や置く位置を変えてください。	—
	MCR-140：周囲に 2.4 GHz 帯の電波を出すもの (電子レンジ、コードレス電話、無線 LAN 等) がある。	それらの機器から遠ざけるか、電源を切ってください。もしこれらの機器が IEEE802.11n 対応の場合、本機に影響が出ないようチャンネル設定を変更してください。	—
	MCR-140：距離が離れすぎている。	トランスミッターと本機の距離を近づけてください。操作可能範囲は、約 10m です。また、本機を低い位置に設置すると無線信号を受信しやすくなります。	—
	MCR-140：本機とトランスミッターのワイヤレスグループが合っていないため、接続されていない。	本機とトランスミッターのワイヤレスグループを合わせてください。	5
	MCR-140：本機が他の機器に接続されている。	他のワイヤレスグループを選択してください。	5
iPod の音が出ない。 音は出るが本機またはリモコンから iPod の操作ができない。	MCR-040：iPod が iPod Dock に正しく接続されていない。	一旦 iPod を本機から取り外し、再度 iPod Dock に正しく差しなおしてください。	5
	MCR-140：iPod がトランスミッターに正しく接続されていない。	iPod をトランスミッターから取り外し、再度トランスミッターに接続してください。	5

症状	原因	対策	ページ
iPod の音量を調節しても音量が調節できない。 リモコンの VOLUME（ボリューム）ボタンを押しても iPod の画面が変わらない。 リモコンから操作ができない。	本機が対応していない iPod が接続されている。	iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch のみ対応しています。	5
	iPod がしっかり接続されていない。	iPod を正しく接続してください。	—
	iPod のソフトウェアが最新バージョンになっていない。	iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。もし最新のソフトウェアにアップデートしても解決されないときは、iPod をリセットしてください。	—
iPod から操作ができない。	MCR-040：iPod が iPod Dock（ドック）に正しく接続されていない。	一旦 iPod を本機から取り外し、再度 iPod Dock（ドック）に正しく差しなおしてください。	5
	MCR-140：iPod がトランスミッターに正しく接続されていない。	iPod をトランスミッターから取り外し、再度トランスミッターに接続しなおして再生してください。	5
再生情報がディスプレイに表示されない。	使用している iPod が再生情報表示ディスプレイに対応していない。	この機能は iPod（第 5 世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch に対応しています。	5
	MCR-140 を使用している。	MCR-040 のみが再生情報表示対応です。	—
iPod が充電されない。	MCR-040：iPod が iPod Dock（ドック）に正しく接続されていない。	一旦 iPod を本機から取り外し、再度 iPodDock（ドック）に正しく差しなおしてください。	5
	MCR-140：iPod がトランスミッターに正しく接続されていない。	iPod をトランスミッターに再度接続し、充電スペースにセットしてください。	5
iPod を接続していないのに、突然音が出た。	MCR-140：他のトランスミッターから接続されている。	別のワイヤレスグループに設定してください。	5
無線通信中に音量が変動する。	MCR-140：無線通信で使用している周波数にノイズが発生したため、本機が使用されていない別の周波数を探して移動している。	故障ではありません。頻繁に音量が変動するときは、本機の設置場所を変えてください。	—

USB

ご注意

下記のように対処しても不具合がある場合は、USB 機器の接続をご確認ください (5 ページ)。

表示	内容	対策	ページ
USB Unplugged	USB 機器が正しく確実に接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
Unknown USB	非対応の USB 機器が接続された。	本機に対応した USB 機器を使用してください。	5
USB OverCurrent	非対応の USB 機器が接続された。	一旦 USB 機器を抜き、入力ソースを USB 以外に変更した後、再び USB に戻してください。その後、対応している USB 機器をもう一度挿入してください。	5
	USB 機器が斜めに挿入されている。		

症状	原因	対策	ページ
USB 機器に保存された音楽ファイルを再生できない。	USB 機器が認識されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
		USB 機器に AC アダプタが付属している場合、AC アダプタを接続してください。	—
	USB 機器が正しく接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
	MP3/WMA ファイルのフォーマットが本機に対応していない。	本機で対応しているファイルと交換してください。	3
	上記の対策をしても症状が改善されない場合、お使いの USB 機器は本機に対応していません。	別の USB 機器をお使いください。	—

その他の情報

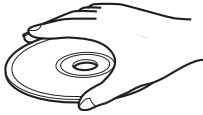
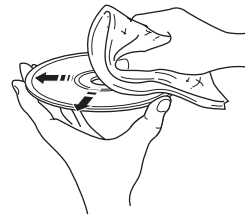
ディスクの再生

症状	原因	対策	ページ
音が出ない、または歪む。	MP3/WMA ファイルのサンプリング周波数が本機に対応していない。	サンプリング周波数またはビットレートが本機に対応しているか確認してください。	3
ディスクをセットしても再生されない。	CD-R/RW がファイナライズされていない。	CD-R/RW をファイナライズしてください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのラベル面を上にしてセットしてください。	—
	ディスクに不具合がある。	他のディスクを再生してください。同様の問題が生じない場合は、最初のディスクに不具合があります。	—
	MP3/WMA ディスクに入っているファイルが少ない。	MP3/WMA ディスクに少なくとも 5 ファイル以上の MP3/WMA ファイルが入っているか確認してください。ファイルが少ないとディスクが認識されない場合があります。	—
	MP3/WMA ファイルのサンプリング周波数が本機に対応していない。	サンプリング周波数またはビットレートが本機に対応しているか確認してください。	3
特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
本体の▷/▯▯もしくはリモコンの▶❚❚ボタンを押しても再生が始まらない（すぐに停止する）。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。	—
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を、1 ～ 2 時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。	—
ディスクトレイにディスクが挿入されているときに「No Disc」とディスプレイに表示される。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクを取り出し、ラベル面を上にしてセットしてください。	—

リモコンの操作

症状	原因	対策	ページ
リモコンで本機を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」をご参照ください。	2
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変えてください。	—
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	2
	リモコンと本機の受光窓の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	—

ディスクの取り扱いについて

・ できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。ディスクを折り曲げないでください。

・ ディスク表面の掃除には、乾いた柔らかい布を使用してください。ディククリーナー、スプレー、その他化学薬品は使用しないでください。
・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。
・ ディスクを拭くときは、ディスクの内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。

・ ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいマジックペンを使用してください。

主な仕様

■ CD レシーバー（CRX-040、CRX-140）

プレーヤー部

iPod

・対応 iPod .... iPod（第５世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch

CD

・メディア .... CD、CD-R/RW
・オーディオフォーマット.......オーディオ CD、MP3、WMA

レーザー

・タイプ .... 半導体レーザー GaAs/GaAlAs
・波長 780nm
・出力 10mW

USB

・オーディオフォーマット .... MP3、WMA

ポータブル

・入力端子 .... ステレオ L/R: 3.5 mm ステレオミニジャック

アンプ部

・定格出力（EIAJ）...15 W + 15 W
（6Ω 1 kHz、10% THD）
・入力感度 / インピーダンス
PORTABLE .... 450 mV/22 kΩ
・全高調波歪率 CD etc. 1 kHz/1 W....................... 0.05%

チューナー部

・受信周波数範囲.................................... 76.0 ～ 90.0 MHz

総合

・電源電圧 / 周波数..........................AC 100 V、50/60 Hz
・消費電力 .... 25 W
・待機時消費電力 (スタンバイ時)
MCR-040 .... 0.5 W 以下
MCR-140
POWER SAVING/ECO 時 .... 1.0 W 以下
POWER SAVING/NORMAL 時（初期設定）........2.0 W 以下
・外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)
.... 180 × 120 × 309 mm
・質量 .... 3.6 kg

■ スピーカー（NS-BP80）

・ドライバユニット....フルレンジ 10 cm コーン型 / 非防磁型
・外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）
....122 × 118 × 287 mm
・質量..1.4 kg

■ トランスミッター（YIT-W11TX）

・周波数...2.4 GHz
・通信可能距離 ....約 10 m（妨害のないとき）
・同時接続台数
...........................最大 7 台（場所や状況により異なります）

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

本製品（MCR-140）は、電波法に基づく技術基準適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器を内臓しております。

本機の無線方式について（MCR-140）

「2.4」	2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「XX」	変調方式はその他の方式
「4」	想定干渉距離が 40 m 以内
▬▬▬	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

iPod™

iPod は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。
「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

本機の設置や設定、操作に関するお問い合わせ

■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10：00～18：00　土曜日 10：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830

FAX（053）463-1127

受付：月～金曜日 9：00～18：00　土曜日 9：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

修理お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 9：00～17：45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ･リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード･プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常･故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検･修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

Printed in China WS48480